

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークは以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読み下さい。

●本説明書は施工後、お施工様へお渡しください。

■施工上のお願い

●サッシ枠は、水平・垂直に十分注意してください。

●雨仕舞いをより確実にするため、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(有償)を張ってください。

▲注意

●縦枠と下枠の接続部は、雨漏れの原因になりますので、十分注意して組立ててください。(コーキングシーラーが下枠のまわりに、はみ出すように位置を合わせてください。ねじ止め後、緩みやガタツキがないことを確認してください。)

●雨戸は、確実に建て込んでください。建込みが不十分な場合、雨戸が落下するおそれがあります。

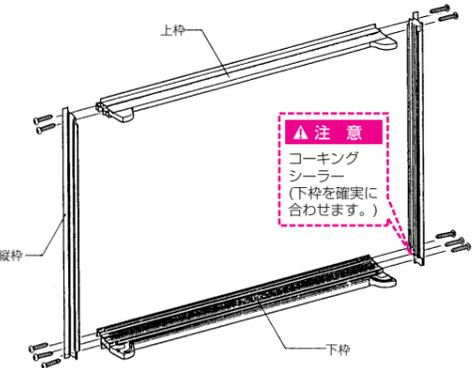
①つり元枠の上・下部ピボット軸は受けに十分入っているか、②上部のピボット軸は完全に入りきっているか、確認してください。

●雨戸建込みの際、下部ピボット軸だけを差し込んだ状態で雨戸をあまり倒さないでください。

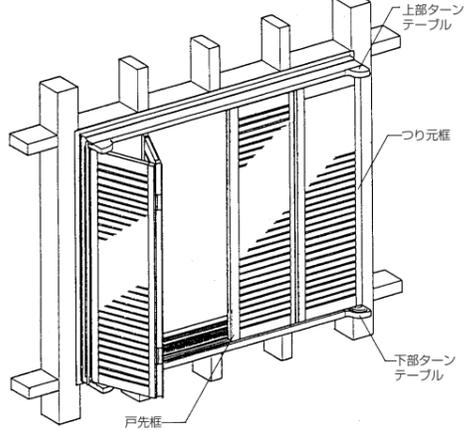
■組立て・取付け順序

1 サッシ枠の組立て

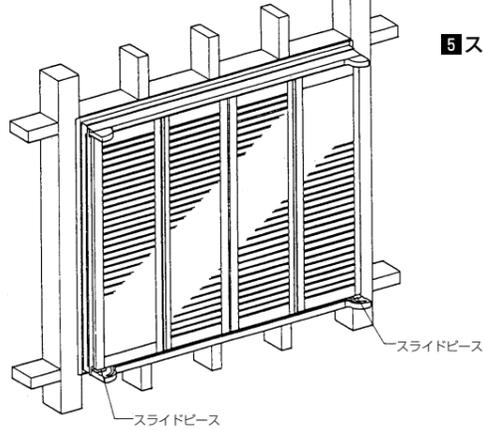
※あおり止めもサッシ枠の組立て時に取り付けてください。



2 サッシ枠の取付け・雨戸の建込み



3 雨戸の建付け調整



4 ストッパー錠補強ピースの取付け

5 ストッパー錠外れ止めねじの取付け

■雨戸の建込み詳細

※雨戸を建て込む際、上部ピボット軸がキャップの突起より出っ張っている場合は、つり元枠内側のボタンを押しながら軸を押し込み作業を進めてください。

〈建込み順序〉

①雨戸の上下を確認(つり元枠端部にボタンが付いているのが上部です。C部詳細図参照)し、先につり元枠下部のピボット軸を下部ターンテーブルのピボット受けに差し込みます。

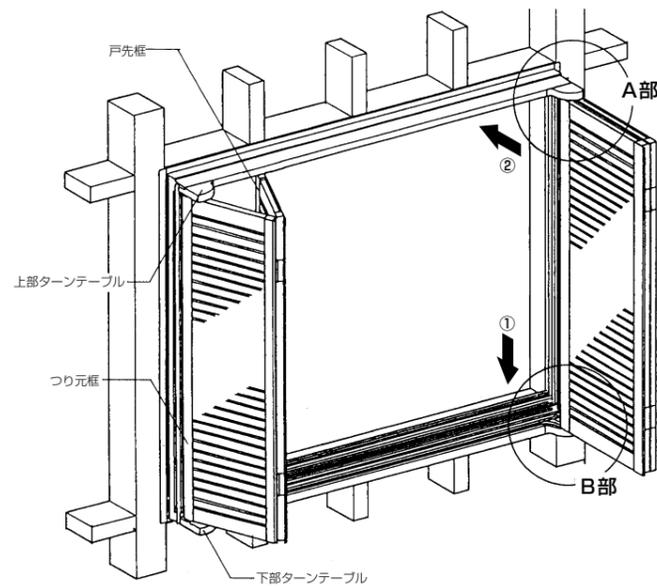
②つり元枠上部ピボット軸と上部ターンテーブルのピボット受けの中心を合わせます。

③つり元枠の室内側にあるボタンを押して上部ピボット軸を飛び出させます。(C部詳細図参照)

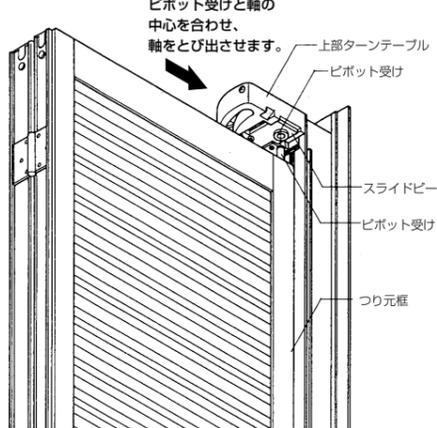
④戸先枠のストッパー錠を通常の開閉時の位置にして、外れ止めねじを取り付けます。(下記取付け詳細の項参照)

▲注意

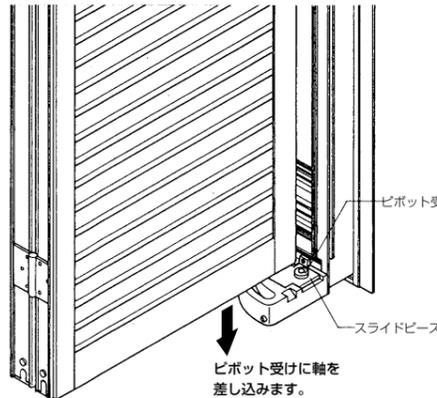
- 下部ピボット軸だけを差し込んだ状態で雨戸をあまり倒さないでください。
- ボタンを押すときは、雨戸が倒れないようしっかりおさえながら作業してください。
- ボタンの上の穴から、ピボット軸が完全に上がったことを確認してください。(D部詳細図参照)



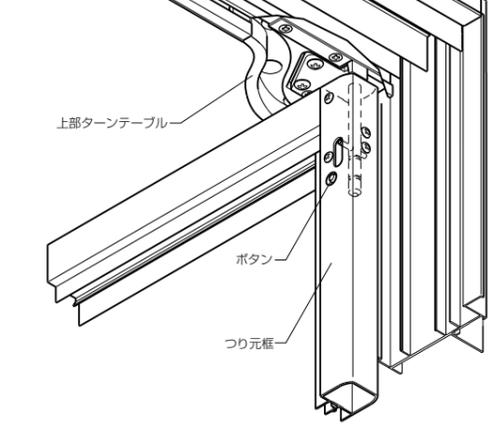
(A部詳細図)



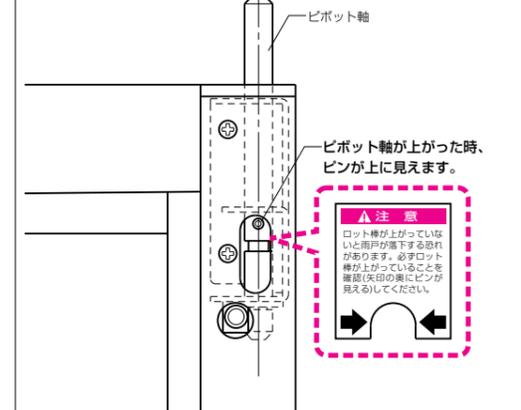
(B部詳細図)



(C部詳細図)



(D部詳細図)



■雨戸の建付け調整詳細

①雨戸を完全に閉め、戸先枠のチリ寸法(a₁、a₂)を調べます。

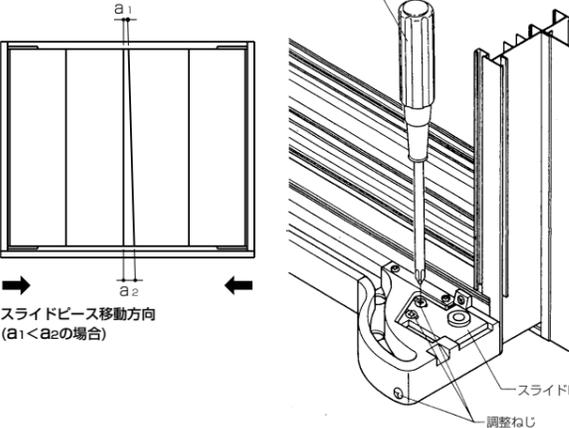
②a₁、a₂が違う場合は、ターンテーブルのスライドピースを移動してa₁、a₂が同じになるように調整します。(図-1参照・標準チリ寸法6mm)

③戸先枠の高さが違う場合は、再度スライドピースを移動して調整します。※下部のターンテーブルだけで調整できない場合は、上部ターンテーブルでも調整します。

※調整後、ねじは確実に締めてください。

※スライドピースの移動は、左右均等にしてください。

(図-1)



■ストッパー錠補強ピース・外れ止めねじの取付け詳細

〈補強ピース〉

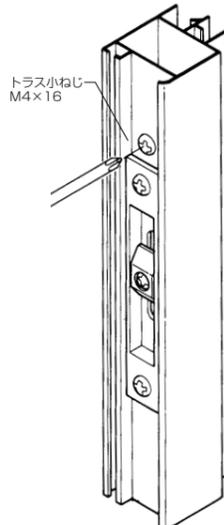
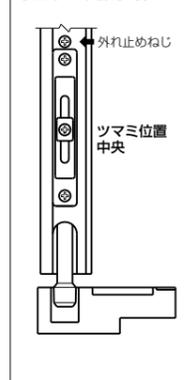
※テラス呼称W90以上に使用します。

●戸先枠のロッド棒をターンテーブルの下穴に落とし込み、枠の端部から補強ピースを差し込みます。

〈外れ止めねじ〉

●ストッパー錠を通常の開閉時の位置にしてねじを固定してください。(ねじは雨戸の部品セットに入っています。)

(通常の開閉時)



■雨戸の外し方

①ストッパー錠の外れ止めねじを外します。次に、ストッパー錠を雨戸の建込み時の位置(ロッド棒の先端が枠に納まる位置)まで上げます。

②つり元枠上部のボタンを押しながら、釘等をピンに引っかけてピボット軸を押し下げ、雨戸を外します。(D部詳細図参照)(ストッパー錠補強ピース・外れ止めねじの取付け詳細参照)

※雨戸の建込みと逆の手順となりますので雨戸の建込み詳細も参照してください。

※ピボット軸を下げる時は、雨戸が外れて落ちないようにしっかり押さえながら作業をしてください。

